

Hitachi Koki

日立携帯用集じん機

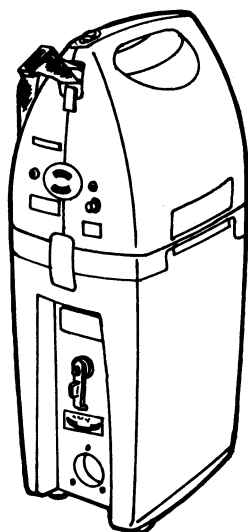
R 25S1

取扱説明書

このたびは日立携帯用集じん機をお買い上げいただき、ありがとうございました。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。






HITACHI


目 次


ページ


集じん機の安全上のご注意	2
携帯用集じん機の使用上のご注意	4
各部の名称	5
仕 様	6
標準付属品	6
別売部品	6
用 途	7
作業前の準備	7
ご使用前に	9
使 い 方	10
保守・点検	13
ご修理のときは	14
全国営業拠点	裏表紙


警告， 注意， 注 の意味について

ご使用上の注意事項は「 警告」と「 注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。また、「 注」の意味も説明します。

 **警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

 **注** : 製品の据付け，操作，メンテナンスに関する重要なお注意。

集じん機の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警 告

- ① 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ 使用電源は、銘板に表示してある電圧・周波数で使用してください。表示以外の電源を使用すると、火災・感電や故障の原因になります。
- ④ 子供を近づけないでください。
 - 作業者以外、集じん機やコードに触れさせないでください。
 - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
- ⑤ 作業に合った集じん機を使用してください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑥ コードを乱暴に扱わないでください。
 - コードを持って集じん機を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のところがった所に近づけないでください。
 - また、重い物を載せたり、挟み込んだりしないでください。
- ⑦ 集じん機は、注意深く手入れをしてください。
 - 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
 - 継ぎ(延長)コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ⑧ 次の場合は、集じん機のスイッチを切り、元の電源をOFFにしてください。
 - 使用しない、または、修理する場合。
 - ホース、フィルターなどの付属品を交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。



警告

⑨ 不意な始動は避けてください。

- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- コードを電源に接続する前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

⑩ 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- 集じん機を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 集じん機から離れて作業する場合は、集じん機の運転状況（異常音、粉じん吹出し、発煙など）に十分注意しながら作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは、使用しないでください。

⑪ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない集じん機は、使用しないでください。

⑫ 集じん機の修理は、専門店で依頼してください。

- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターにお申し付けください。
修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

携帯用集じん機の使用上のご注意

先に集じん機として共通の注意事項を述べましたが、携帯用集じん機として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

警 告

- ① **必ずアース(接地)してください。**
故障や漏電のとき、感電の恐れがあります。(詳細は7ページの「1. アース(接地)、漏電しゃ断器の確認」の項をご参照ください。)
- ② **コンセントに接続できる電動工具の消費電力は1000Wまでです。1000W以下で使用してください。**
消費電力が、1000W以上の電動工具をコンセントに接続して使用すると、定格以上の電流が流れ、さし込みプラグなどの故障やけがの原因になります。
- ③ **定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。**
他の器具と併用すると、異常発熱による火災の恐れがあります。
- ④ **以下のものは吸わせないでください。**
 - 水、油などの液体。
 - 金属の研削、切断作業時に発生する火花。
 - 火のついた、たばこの吸いがらなど高温度の物。
 - 引火性物質(ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料など)、爆発性物質(ニトログリセリンなど)、発火性物質(アルミニウム、亜鉛、マグネシウム、チタン、赤リン、黄リン、セルロイドなど)。
 - 釘、カミソリの刃など鋭利な物。
 - セメント粉・トナーなど固化するものや、金属粉・カーボン粉など導電性の微粉じん。
火災やけがの原因になります。
- ⑤ **フィルターは正しくセットして使用してください。**
フィルターをはずしたまま使用したり、セット位置を誤ったまま使用したり、破れたフィルターを使用したりしないでください。
モーター焼損などの故障の原因になります。
- ⑥ **本体やさし込みプラグ、コンセントに水や油などをかけたりしないでください。**
本機は防水構造ではないため、感電や故障の原因になります。
- ⑦ **本体の吸込口・吸気口・排気口をふさいだ状態で使用しないでください。**
モーターの温度が異常に上昇し、部品の変形や、モーター焼損などの故障の原因になります。

警告

- ⑧ ホース、吸口などに異物が詰まったまま運転しないでください。
モーターの温度が異常に上昇し、部品の変形や、モーター焼損などの故障の原因になります。
- ⑨ 本体を倒したり、横倒しの状態で使用しないでください。
感電や故障の原因になります。
- ⑩ 転倒などによる本体の変形、破損防止のため、本体の移動は静かにしてください。
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑪ 誤って落としたり、ぶつけたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑫ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑬ 継ぎ(延長)コードを使用するときは、アース線を備えた3心キャブタイヤケーブルを使用してください。
アース線のない2心コードですと、感電の原因になります。
- ⑭ 本機は屋内用です。決して屋外で使用しないようにしてください。
絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

各部の名称

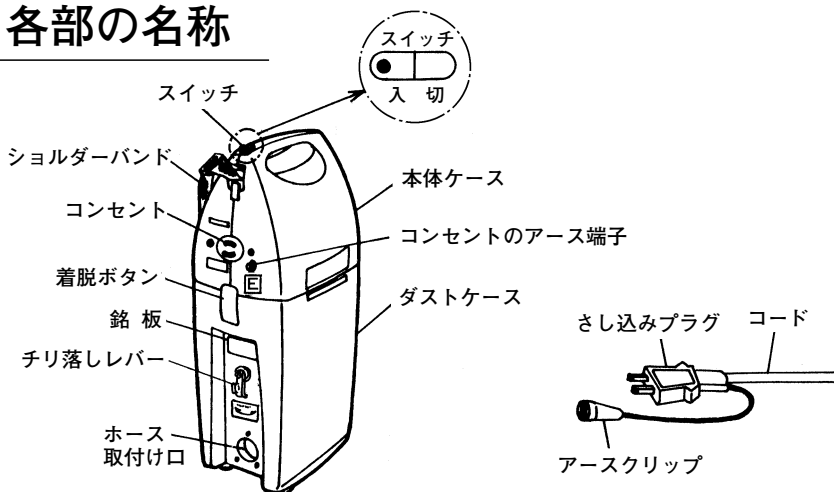
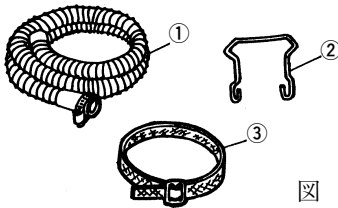


図 1

仕 様

使用電源	単相交流 50 / 60 Hz 共用 電 圧 100 V
全負荷電流	5 A
消費電力	480 W
真空度	9.8 kPa {1000 mm水柱}
風 量	1.1 m ³ /min
ホース内径	25 mm
モーター	単相直巻整流子モーター
外形寸法	長さ 202 mm×幅 155 mm×高さ 450 mm
質 量	3.1 kg (コード, ホースを除く)
コ ー ド	アースクリップ付 3心キャブタイヤケーブル 5 m

標準付属品



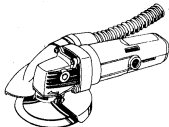
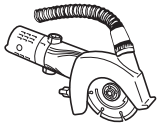
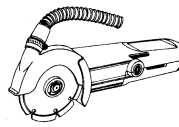
- ① ホース (1.5 m) 1 個
- ② ベルトフック 1 個
- ③ ベルト 1 個

図 2

別売部品

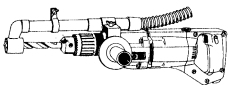
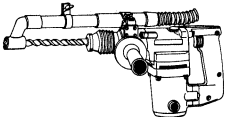
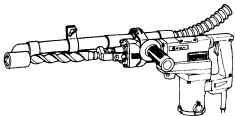
..... (別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。)

1. 各種集じんアダプター

種類と形状	1. ディスクサンダ用	2. カッター用(ディスクグラインダ)	3. カッター用
			
適用機種	S 10S1, S 10	PDA-100E, PDA-100D, PDA-100C PDA-100D(S), PDA-100C(S) PDH-100E, PDH-100D, PDH-100C G 10B, G 10SB1, G 10SB, G 10SG, G 10SH, G 10SK, G 10SL, G 10SP, G 10YA1, G 10YA, G 10YH	CM 4Y2, CM 4Y1

(次ページへつづく)

(前ページのつづき)

種類 と 形状	4. 振動ドリル用	5. ロータリハンマドリル (インパクトドリル) 用	6. ハンマドリル用
			
適用 機種	V-14, VP-14, V-19 DV 12, DV 16, DV 21V, VTP-12, VTP-16 VTP-19A, VTP-25	DH 16V, DH 18VA, DH 18V1 DH 20VA, DH 20V, DH 22V1 DH 25VA, DH 25V, DH 22V	PR-25B, PR-38E DH 38SA, DH 38YC DH 38, DH 38Y, DH 35 DH 40SA, DH 40MA, DH 40MB

上記の集じんアダプタの他にジグソー、サンダ、集じん丸のこ用も用意しておりますので、お買い求めの販売店にご相談ください。

2. 掃除用各種吸口

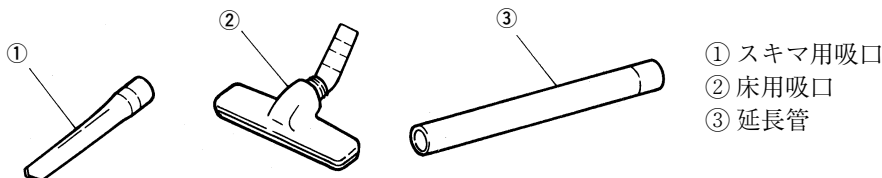


図 3

用 途

サンダ、カッタ、ロータリハンマドリル(インパクトドリル)などで、コンクリート、石材などの研削、切断、穴あけおよび塗装はくり作業時に発生する粉じんの集じん。

作業前の準備

作業前に次の準備をすませてください。

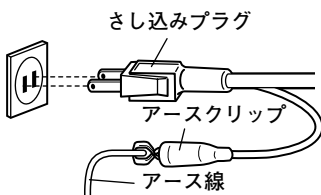
1. アース(接地)、漏電しゃ断器の確認……………

ご使用にさきだち、本機が接続される電源に労働安全衛生規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電しゃ断装置(以下、漏電しゃ断器と言います)が設置されていることを確認してください。

また、本機は必ずアース(接地)をしてください。定格感度電流 15 mA以下、動作時間 0.1 秒以下の電流動作型の漏電しゃ断器が設置されている電源でお使いになる場合でも、より安全のためにアースされるようおすすめします。

アースをするときは、下記図のアースクリップをお使いになると便利です。
アースクリップ、アース線は、念のために異常のないことを確認してからご使用ください。テスターや絶縁抵抗計などをお持ちでしたら、アースクリップと本機金属外枠との間の導通を確認してください。

地中に接地極（アース板、アース棒）を埋め、アース線を接続するなどの接地工事は、電気工事士の資格が必要ですので、お近くの電気工事店にご相談ください。なお、アース線をガス管に取付けると爆発の恐れがありますので、絶対にしないでください。



漏電しゃ断器やアース（接地）については、次の法規がありますので、ご参照ください。

労働安全衛生規則（第333条、第334条）

電気設備の技術基準（第18条、第28条、第41条）

2. 継ぎ（延長）コード……………

⚠ 警 告

- 継ぎ（延長）コードは、損傷のないものを使用してください。

電源の位置がはなれていて継ぎコードが必要なときは、製品を最高の能率で故障なくご使用いただくため、電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。

導体公称断面積	最大長さ
1.25 mm ²	15 m
2 mm ²	25 m
3.5 mm ²	45 m

左の表は、使用できるコードの太さ（導体公称断面積）とその最大長さを示します。

必ずアース（接地）できるアース用の1心をもつ3心キャブタイヤケーブルをお使いください。

3. 作業環境の整備・確認……………

作業をする場所が注意事項にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

○ 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前に

警告

- ご使用前に次のことを確認してください。1～5項については、さし込みプラグを電源にさし込む前に確認してください。

1. 使用電源を確かめる……………

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に高速になり、機体が破壊する恐れがあります。

また、直流電源で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

2. スイッチが切れていることを確かめる……………

スイッチが入っているのを知らずにさし込みプラグを電源にさし込むと不意に起動し、思わぬ事故のもとになります。

スイッチ(図1参照)は、スイッチの●印側を押すと入り、反対側を押すと切れます。スイッチが切れていることを必ず確認してください。

3. ホースの取付け……………

付属品のホースの集じん機さし込み側をダストケースのホース取付け口に、ホースの集じんアダプタさし込み側を使用する集じんアダプターの吸口部に取付けます。

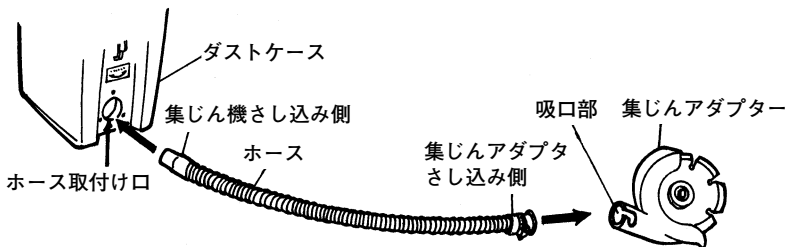


図 4

4. ショルダーバンドの調整……………

ショルダーバンドの長さは、バックルで調整できますので、使いやすい長さに調整してください。



図 5

5. ベルトフック、ベルトの取付け方……………（図6）

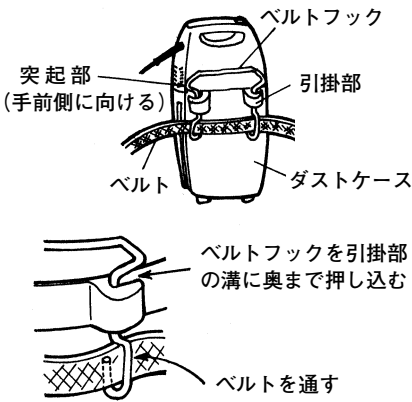


図 6

ベルトを使用する場合は次のようにします。

- (1) ダストケースの引掛部（2ヵ所）の溝に、ベルトフックを突起部が手前側になるようにして取付けます。
- (2) ベルトをベルトフックのフック部（2ヵ所）に通してください。



ベルトを図7のように腰に固定して使用できます。

図 7 ベルト使用例

6. 電源コンセントの点検……………

さし込みプラグをさし込んだとき、ガタガタだったり、すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。

お近くの電気工事店などにご相談ください。そのままお使いになりますと過熱して事故の原因になります。

使 い 方

- 注** ・ホースの取扱いはていねいにしてください。ホースを無理に曲げたり、踏みつけたり、ホースを引っ張って本体を移動させたりしないでください。また、ホースを折り曲げたまま収納しないでください。ホースの変形などの原因になります。

1. ホースの取付け、フィルターの取付けを再確認する……………

スイッチを入れる前に、ホースおよびフィルターが確実に取付けられているかどうか再確認してください。

2. 本機のコンセントを使用する場合は…………

警告

- コンセントには、集じん機のスイッチの位置にかかわらず、電圧がかかります。
電動工具のさし込みプラグをコンセントにさし込む場合、電動工具のスイッチが切れていることを確認してください。
電動工具のスイッチが入っているのを知らずにさし込みプラグをコンセントにさし込むと不意に起動し、思わぬ事故のもとになります。
- コンセントに接続できる電動工具の消費電力は1000 Wまでです。1000 W以下でご使用ください。
- さし込みプラグの抜け止めがかかっている状態で、コードを引っ張らないでください。さし込みプラグを左に回し、抜け止めをはずしてからさし込みプラグを抜きとってください。

電動工具を本機のコンセントに接続してご使用になる場合は、電動工具のさし込みプラグをコンセントにさし込んで右に回してください。「カチッ」と音がしたところで、さし込みプラグの抜け止めがかかります。さし込みプラグを抜く場合は左に回して抜け止めをはずしてから抜きとってください。

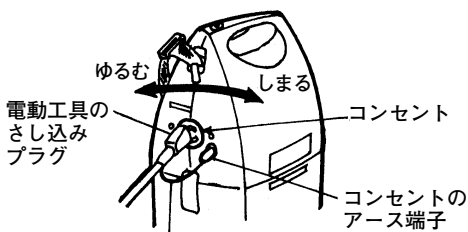


図 8

電動工具のアースクリップをコンセントのアース端子に接続する。
(二重絶縁品を除く)

3. スイッチの操作…………

スイッチは、スイッチの●印側を押すと入り、反対側を押すと切れます。スイッチを入れて回転が安定してから、集じん作業を始めてください。

4. チリ落としレバーの操作…………

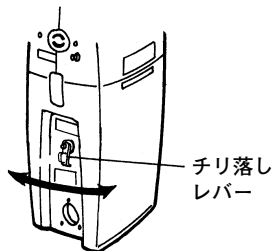


図 9

フィルターが目詰りをおこしますと吸込力が低下します。チリ落としレバーを矢印方向に20回程度往復させますと、フィルターに付着した粉じんを取りのぞくのに効果があります。

作業中は、ときどきチリ落としレバーを動かしてフィルターのチリ落としをしてください。

5. 粉じんの捨て方…………

警告

- 必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いておいてください。
- ダストケース部に強い衝撃を与えないでください。変形、破損の原因になります。
- チリ落しをよく行ない、ダストケース内の粉じんは早めに捨て、本体やフィルターなどを常に清潔に保ってください。吸込力の低下やモーターの故障、悪臭発生の原因になります。
- 粉じんを捨てた後は、フィルターは確実にセットしてください。
また、本体ケースとダストケースが着脱ボタンで確実に固定されるようにセットしてください。



図 10

- (1) チリ落としレバーを 20 回程度往復させて、フィルターのチリ落しをしてください。
- (2) 着脱ボタンを押して、本体ケースを上方に引きあげ、ダストケースをはずします。

(図 10)

- (3) ダストケース内のフィルターを取り出し粉じんを捨ててください。

Fパッキンの「ひく」と書いてあるつまみ部を引き上げますと、フィルターが取り出せます。ダストケース内の粉じんを捨ててください。フィルターも手で数回軽くはたいて粉じんを取り除いてください。

(図 11)

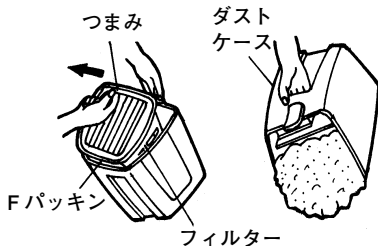


図 11

- (4) もとの位置にセットします。

フィルターをダストケースの着脱ボタンのついてない方の下側から押し込みダストケース内に入れ、本体ケースをダストケースの上から重ねるようにセットしてください。(図 12)

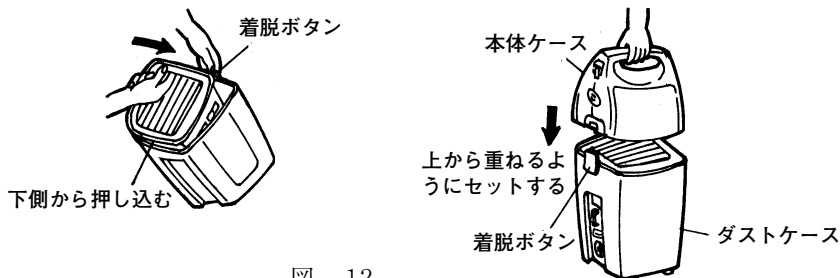


図 12

6. 掃除機として使用する場合……………

掃除機としてご使用になる場合は、延長管と吸口をさし込んでください。

注 ・スキマ用吸口、床用吸口、延長管は別売部品です。

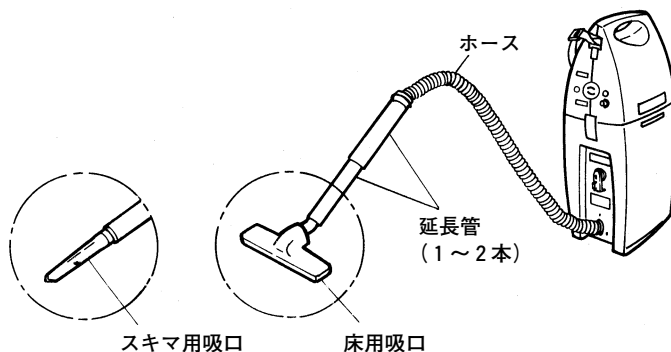


図 13

保守・点検

⚠ 警告

- 点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いておいてください。
- ぬれた手で作業しないでください。感電やけがの原因になります。

1. フィルターの手入れ……………

⚠ 注意

- 洗濯機で洗ったりしないでください。
- 熱湯で洗ったり、火で乾かしたりしないでください。

フィルターのチリ落しをして、粉じんを捨てた後でも吸込力が弱い場合は、フィルターをはずして水またはぬるま湯(手に熱く感じない程度)で洗浄してください。

洗浄後は、陰干しにして完全に乾燥させてからご使用ください。

2. 各部取付けネジの点検……………

各部取付けネジでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら締めなおしてください。

ゆるんだままお使いになりますと、けがなど事故の原因になります。

3. モーター部の取扱いについて……………

モーター部の巻線部分は本機の心臓部ともいえます。巻線部分にキズをつけたり、洗油や水をつけたりしないよう十分注意してください。

4. 表面のよごれの清掃……………

表面のよごれは、水または中性洗剤を含ませた布でふいてください。
ベンジン、シンナー、化学雑きんなどではふかないでください。

5. 製品や付属品の保管……………

使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- | | | | |
|---|---|---|---------------------|
| { | <ul style="list-style-type: none">○お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所○軒先など雨が降ったり、湿気のある場所○温度が急変する場所○直射日光の当たる場所○引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所 | } | このような場所
には保管しない。 |
|---|---|---|---------------------|

ご修理のときは

この機体は、厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は、決してご自分で修理をなさらないでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。

ご不明のときは、裏表紙の営業拠点にご相談ください。

その他、部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

※（外観などの一部を変更している場合があります。）

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(No.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	販売店
製造番号(No.)				電話番号

■日立工機電動工具センターにご用命のときは、下記の営業拠点にお問い合わせください。

●全国営業拠点

営業本部	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号(品川インターシティA棟) ☎(03) 5783-0626(代)
北海道支店	〒060-0003	札幌市中央区北三条西四丁目(日生ビル) ☎(011) 271-4751(代)
東北支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東三丁目3番36号 ☎(022) 288-8676(代)
東京支店	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号(品川インターシティA棟) ☎(03) 5783-0629(代)
中部支店	〒460-0008	名古屋市中区栄三丁目7番13号(コスモ栄ビル) ☎(052) 262-3811(代)
北陸支店	〒920-0058	金沢市示野中町一丁目163番 ☎(076) 263-4311(代)
関西支店	〒530-0001	大阪市北区梅田二丁目6番20号(スノークリスタル) ☎(06) 4796-8451(代)
中国支店	〒730-0011	広島市中区基町11番13号(第一生命ビル) ☎(082) 228-0537(代)
四国支店	〒761-0113	高松市屋島西町字百石1981 ☎(087) 841-6191(代)
九州支店	〒813-0062	福岡市東区松島四丁目8番5号 ☎(092) 621-5772(代)

●電動工具ご相談窓口 — お買物相談などお気軽にお電話ください。

お客様相談センター 0120-20 8822 (無料)

※携帯電話からはご利用になれません。(土・日・祝日を除く 午前9:00～午後5:00)

電動工具ホームページ — <http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/>

 日立工機株式会社